

2019年9月7日 ~ 2019年9月13日

2019年9月18日

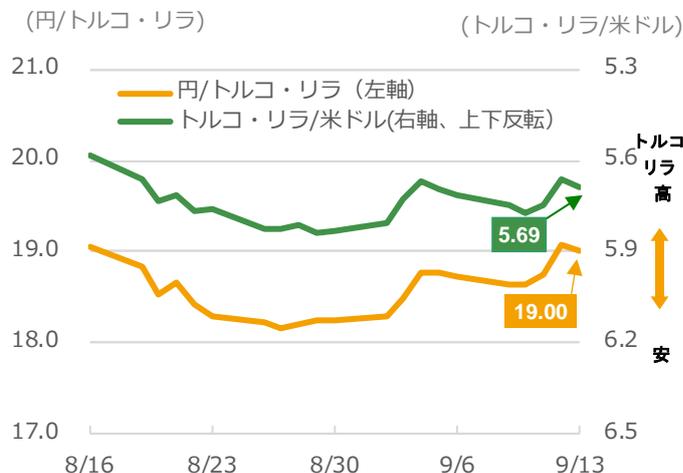
先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は対米ドル・対円ともに上昇しました。トルコの2年国債金利は低下しました。

先週は、トルコ中央銀行が政策金利である1週間物レポ金利を19.75%から16.50%に、3.25%ポイント引き下げることを見越して、事前にエルドアン大統領が「政策金利を1桁台に引き下げる」と発言し、一部では大幅な利下げが予想されていたことから安心感が広がり、トルコ・リラは対米ドル・対円ともに上昇しました。国債金利は利下げを受けて低下しました。

トルコ・リラ 為替推移

(2019年8月16日~2019年9月13日)



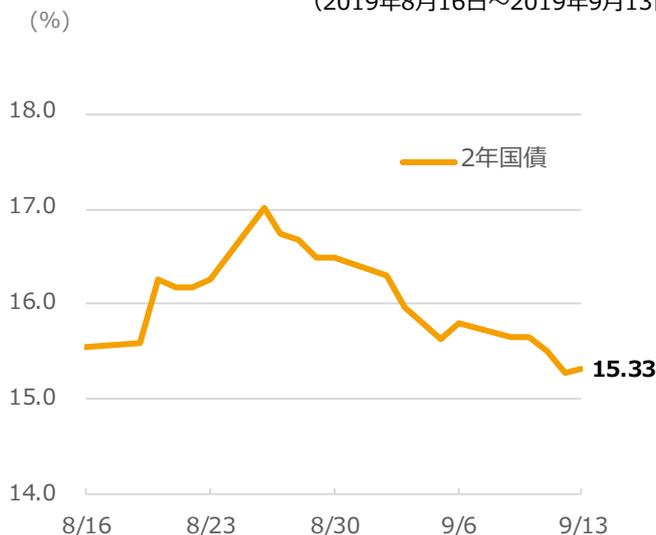
※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

今週の見通し

今週はトルコ国内の材料が乏しい一週間になります。サウジアラビアの石油施設が攻撃された件については、早くも生産量の回復が伝えられ、市場のリスクセンチメントは回復しています。市場の注目は18日(米国)のFOMC(米国連邦公開市場委員会)に集まっていますが、市場の良好なリスクセンチメントが継続する限り、今週もトルコ・リラにとってポジティブな環境が続くと予想しています。

トルコ 金利推移

(2019年8月16日~2019年9月13日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。